

▶カラムを楽しむ新聞部員と白河高校の生徒



福島県

白河高校と交流

～彦根の魅力伝える～

本校に訪れた白川高校の生徒は3年生の鈴木朝登君、2年生の岡部笑瑠さん、高宮奈奈さん、1年生の星颯斗君だ。鈴木君は2年前に彦根を訪れており、今回で2回目となる。

20日はキャラ博で八幡商業高校と白河高校と本校新聞部の三校で、ぎんやんとともに福島への募金活動を行った。またキャラ博の後、本校はぎんやんグッズを、白河高校は公式

10月20日・21日に本校新聞部は福島県の白河高校から訪れた高校生4人と交流を行った。20日にはご当地キャラ博in彦根2018で募金活動、21日には彦根の町の散策を行った。

速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

キャラクターであるしらかわんのグッズ、だるま最中などを送った。お互いの自己紹介をした後、部室で彦根市の伝統的なゲームであるカラムをした。馴染みのないゲームに最初は戸惑いがあったが、大いに盛り上がった。

21日には新聞部員5人と白河の生徒は彦根の町を巡った。そのなかで本校からキャッツロードを行き四番町スクエア、花しようぶ通りを散策した。そこでは戦国丸を訪れ『しまさこにゃん』がおり記念撮影をした後、店内を見学した。昼食は滋賀県や彦根の

ご当地グルメであるひこね井と近江ちゃんぼんを2班に分かれて食べた。昼食後には彦根城を訪れ、博物館を見学したり天守閣に登ったり彦根の街を見下ろしたりと彦根城を大いに楽しんだ。

高宮さんは2日間を振り返り「新聞部で募金活動をしていふことを知り驚いた。白河ではそのような活動をしていないので新鮮だった。彦根について知らないことの方が多いが、これをきっかけに『彦根はこういう所だよ』と他人に言えるようになったらいいなと思う」と感想を寄せた。

交流アルバム

